

## 倶多楽の火山活動解説資料

札幌管区気象台  
地域火山監視・警報センター

＜噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）が継続＞

昨日（5日）23時20分過ぎから大正地獄において小規模な熱湯噴出が発生しています。

大正地獄の熱湯噴出現象は局所的なものであり、地震活動や噴気の状態には特段の変化は認められず、火山活動は静穏な状況です。

噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 概況

昨日（11月5日）23時20分過ぎから、北海道大学が大正地獄付近に設置した地震計において熱湯噴出によると考えられる震動波形を観測しました（図4）。また、遠望カメラでも、大正地獄から平常時より多い噴気を観測しました。

そのため、本日（6日）現地調査を実施しました。大正地獄では、高さ1.5～2m程度の熱湯の噴出が断続的に発生しており（図1）、大正地獄周辺約30mの範囲には噴出に伴うと考えられる泥が飛散した痕跡を確認しました（図2）。

大正地獄では、今回と同様の熱湯噴出は過去にも度々みられており、最近では2007年から2011年にかけて観測されました。この熱湯噴出は局所的なものであり、火山活動の活発化に直接つながるものではないと考えられます（図5）。

日和山や大湯沼、地獄谷など、その他の温泉・噴気地帯の状況に特段の変化はありませんでした。また、地震活動や地殻変動の状況にも特段の変化はみられません。



図1 倶多楽 大正地獄の状況

（図3中の①から南西方向に撮影）

・熱湯噴出による湯面の盛り上がりが見られています

（熱湯噴出以前の状況）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び北海道大学のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号 平26情複、第658号）。



図2 倶多楽 大正地獄周辺の状況  
(図3中の①から東方向に撮影)  
・熱湯噴出に伴うと考えられる泥が飛散しています

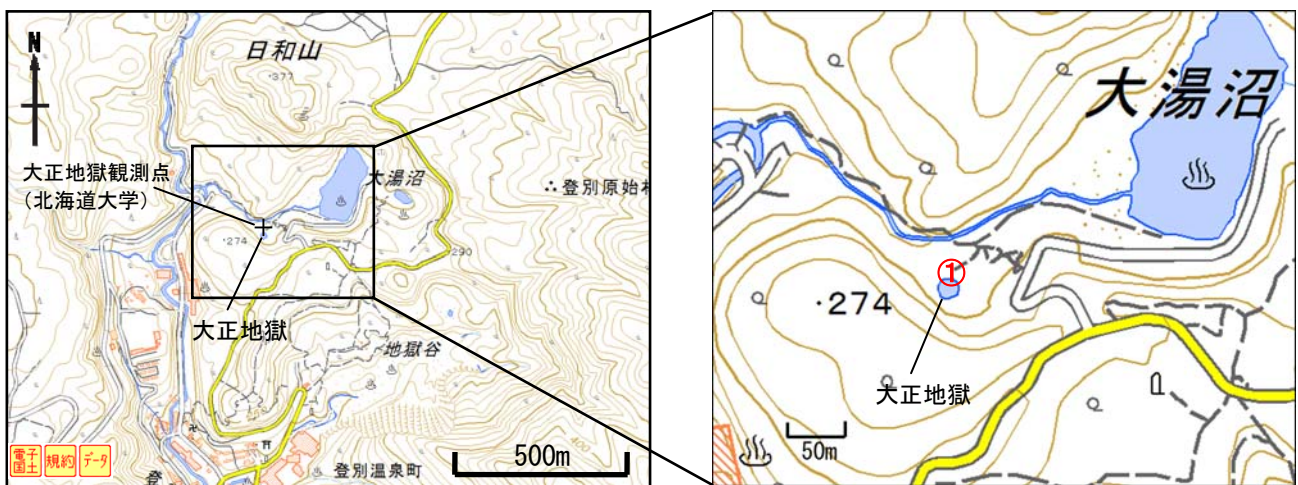


図3 倶多楽 大正地獄周辺図と写真の撮影位置

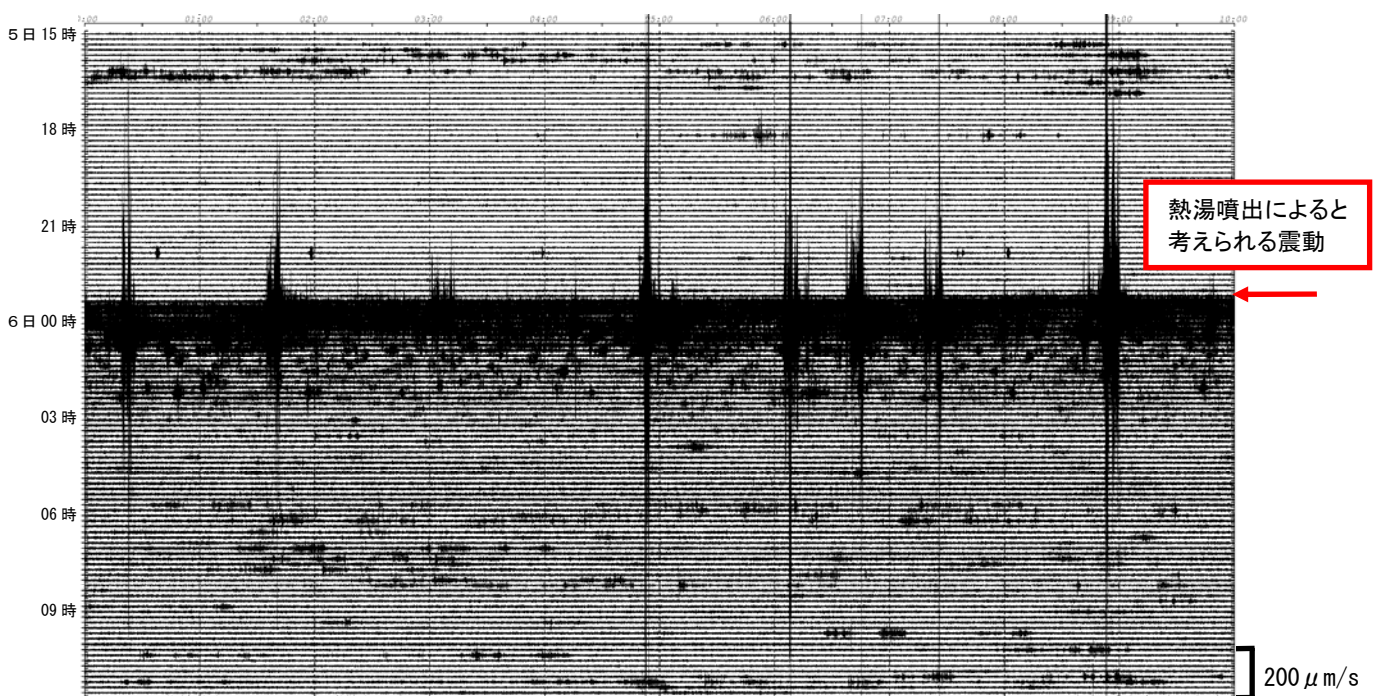


図4 倶多楽 大正地獄観測点 (北海道大学) の震動波形 (11月5日15時～6日12時)



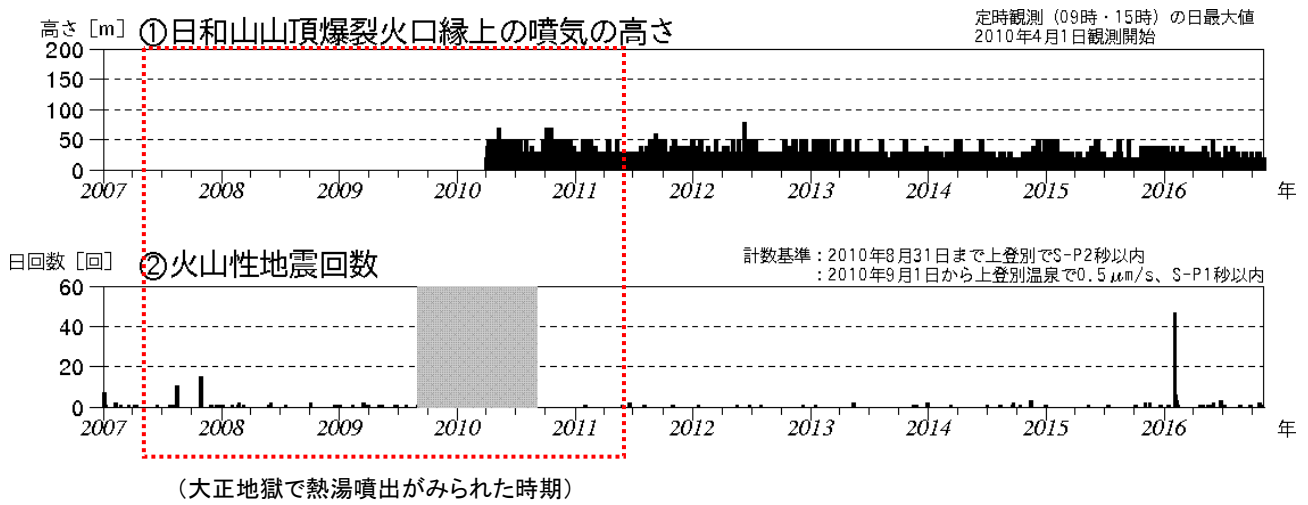


図5 倶多楽 火山活動経過図 (2007年1月～2016年11月5日)

- ・ ②の灰色の期間は機器障害による欠測を示します
- ・ 2007年から2011年まで大正地獄で熱湯噴出がみられましたが、同時期の地震活動や噴煙の状況には特段の変化はみられませんでした

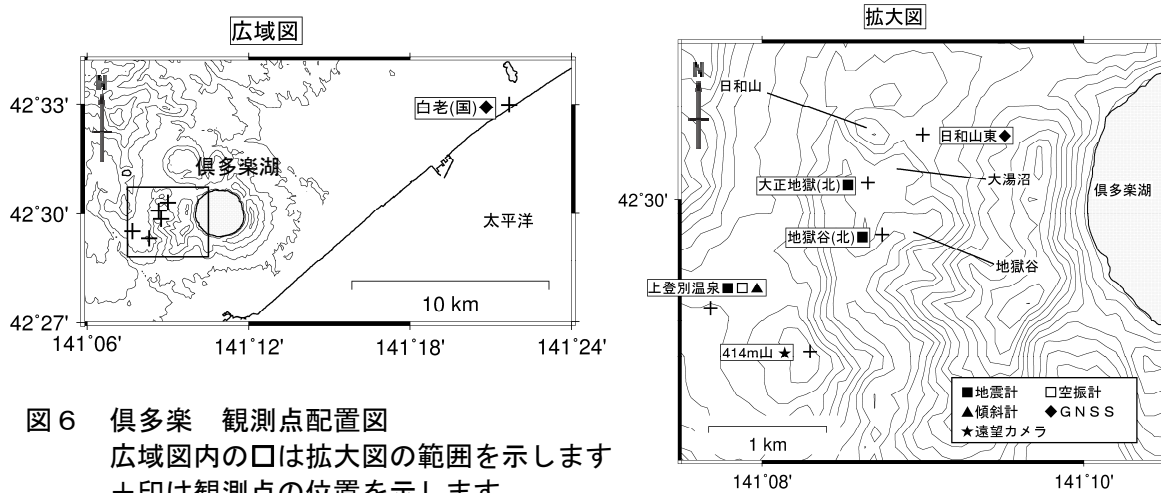


図6 倶多楽 観測点配置図

広域図内の口は拡大図の範囲を示します

+印は観測点の位置を示します

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています

(国) : 国土地理院

(北) : 北海道大学